

シグマ研究委員会 核構造・崩壊データ専門部会

核構造データ W. G. サブグループ会合

日 時：昭和58年1月11日（火） 9：00～17：30

12日（水） 9：00～17：30

場 所：原研東海研究所 核物理第1研19号室

出席者：宮野（新潟大），大矢（新潟大），田村（原研）

議 事：1. A = 124の経過

2. A = 121の検討・作業

3. その他

1. A = 124の経過

A = 124の ENSDF について最終的な検討を行い， NNDC へ送付した。

2. A = 121の検討・作業

(i) 前回作成した文献リストをもとにして文献コピーを揃えた。

(ii) 諸文献からつぎのデータセットを作成した。

(a) ^{121}In β 崩壊（12.5秒）

(b) ^{121}In β 崩壊（8.3秒）

(c) ^{121}IEC 崩壊（2.1時間）

(d) $^{121}\text{XeEC}$ 崩壊（40分）

(e) $^{118}\text{Sn}(^6\text{Li}, 3n\gamma)$

(f) $^{121}\text{CsEC}$ 崩壊（136秒）

(g) $^{121}\text{CsEC}$ 崩壊（121秒）

(iii) ^{121}Sb , ^{121}I について部分的な修正を行った。

(iv) 以上のデータ・セットを adopted levels, gammas に反映させるための原案を2月中に作成する。

3. 次年度の作業として A = 119 もしくは 123 を取り上げる予定である。次回は58年度となる見通しである。